



高大連携トピックス① 厚木清南高等学校との連携

湘北SDGs体験デー

9月12日(木)と13日(金)の2日間にわたって、地域連携センター事業である「出張授業」の一環として、神奈川県立厚木清南高等学校の3年生の生徒150名が湘北短期大学に来校し、大学におけるSDGs教育プログラムを体験しました。



この企画は、「高校3年生の総合的な探求の時間においてSDGsに関する教育を行いたい」という厚木清南高校の先生からの出張授業依頼をきっかけにスタートし、本学でSDGs教育を担当している築瀬(生活プロデュース学科学科長・リバラルアーツセンター副センター長)と二見(生活プロデュース学科講師)が中心となり、厚木清南高校のニーズに合わせる形で授業プログラムをデザインし実現しました。

当日、150名の生徒たちは2日間の日程に分かれて、それぞれ9:00~12:00の時間に3つのプログラムに取り組みました。最初に「SDGsに関する講義」として、SDGsの基礎知識を確認し、後半のワークに必要な意識をみんなで共有しました。続いて「2023SDGsカードゲーム」に取り組みました。「2030SDGsカードゲーム」とは、一般社団法人「イマココラボ」が作成しているボードゲームであり、楽しみながらSDGsを用いて世界を捉える視点を体験的に学ぶことができるゲームとなっています。ゲームでSDGsの視点を学んだあとは、最後に大教室に集合し、「SDGsからキャリアをつなげて考えるワーク」として、自分の好きなこととSDGsをつなげて考えるワークに取り組みました。

受講後アンケートでは「学校で学ぶよりもっともっと詳しく学べたから勉強になった。分かりやすかったし、楽しかった。」「大学に行って学べるのが新鮮だったから貴重な体験になった」というコメントが見られ、普段の授業とは異なる、大学での講義で学ぶことの意義を感じた生徒の様子も見られました。

今後も、厚木清南高校とはSDGs教育で定期的に出張授業を継続していく予定です。

高大連携トピックス② 厚木王子高等学校との連携

湘北短期大学では、これまで厚木商業高校、厚木東高校とそれぞれ高大連携協定を結び、様々な連携活動を行ってきました。2024年4月、両校が統合され新しく厚木王子高校となってスタートしましたが、これまで続けてきた高大連携活動をこれからも継続していくという思いが共有され、2024年5月に、新校である厚木王子高校と湘北短期大学の間で、新たに連携協定が結ばれました。

新規連携校のご紹介

2024年5月13日の厚木王子高校と教育交流協定の様子。厚木王子高校宗方校長(中央左)と湘北短期大学高橋学長(中央右)がそれぞれ調印いたしました。
今後、学校間連携を進めながら「社会でほんとうに役立つ人材を育てる」ため、両校で協力を深めていきたいと考えています。



金融教育連携プログラム

厚木王子高校とは、旧厚木商業高校の時から、金融教育に関する連携活動に取り組んでいます。厚木王子高校の生徒が小学生へ金融教室を実施した取り組みが、TVKテレビで2024年9月6日に放映されました。その中で、湘北短期大学との連携についても紹介されています。

YouTubeで動画が公開されていますので、左記QRコードからご覧ください。



●新校舎完成

今年度創立された県立厚木王子高等学校では、旧厚木商業高等学校の専門学科の施設設備を移設することを主な目的として、4階建ての「商業教育棟」が新築されました。専門学科商業の学習の充実のために4つの情報処理室、商品開発実習室、撮影スタジオ、マーケティング実習室、プレゼンテーション実習室、日本文化実践室、約450名収容のさつきホール等を備え、ラウンジカフェ(食堂)、図書館、トレーニング室等も新設されました。



第23回 高大連携教育研究会

- 開催日時: 2024年9月3日(火)14時30分~17時00分
- 開催場所: 湘北短期大学1号館145教室
- 出席者(連携高校教員 11名、湘北短期大学教職員 18名 計29名)

教育研究会 第一部

対談「高大連携の可能性」

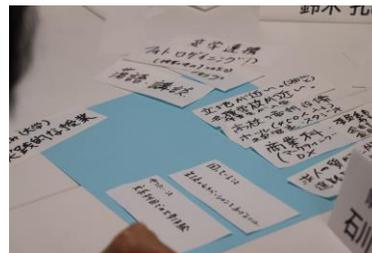
- 川崎市立川崎総合科学高等学校
情報工学科科長 総括教諭 高木誠先生
- 湘北短期大学
総合ビジネス・情報学科副学科長 教授 内海太祐



湘北短期大学は、2007年度から川崎総合科学高校と連携し、1日体験授業やワークショップ、模擬授業の提供などの教育交流を続けてきました。2023年度からは、短期大学でより高度な情報教育を提供する「3+2」情報教育プログラムを提案し、川崎総合科学高校と連携してカリキュラムを開発してきました。これは、高校3年と短期大学2年を繋ぎ、実践的な技術者を育成する新しい教育モデルで、2026年度からスタートします。企業や地域と連携した学びの場を作ります。また、オンデマンド教材を活用した資格試験対策授業を展開し、学生が効率的に学べる環境を整えます。卒業後はソニー系企業への就職や4年制大学への編入、優良企業への就職が期待されており、学生のキャリア支援にも力を入れています。

教育研究会 第二部

- 湘北短期大学からの取り組み発表
 - ・保育学科の取り組み
 - ・生活プロデュース学科の取り組み
- グループワーク
 - ・高大連携の可能性を広げる
 - ～高校×湘北短期大学のコラボを企画しよう！



第二部では、第一部の内容を受けて高大連携を強化するためのグループワークを行いました。最初に、高校の先生方、湘北の教職員、学生を交えた5つのグループに分かれ、アイスブレイクとしての自己紹介ゲームを行い、前提の共有として各学科からの地域連携取り組みの紹介が行われました。メインとなるグループワークでは、「高校×湘北のコラボ企画を考えること」を目的とし、それぞれの教員の専門や、学校の特色や強み、また今感じている困りごとなど、和やかな雰囲気の中で活発な意見交換が行われ、高大間の相互理解が深まり、連携に向けた土台が固められました。終了後のアンケートでは、先生方から情報交換や交流ができたことを好意的にとらえる回答を多くいただきました。

出張授業

湘北短期大学では、総合ビジネス・情報学科、生活プロデュース学科、保育学科すべてでオーダーメイドの出張授業を実施しています。テクノロジー、未来の働き方、キャリア教育、SDGs、金融リテラシー、児童福祉、子どもの発達、子どもの遊びなどテーマは多様。各校様のご要望に応じて柔軟に対応しますので、ご相談ください。今年度もすでに多くの高校様にて出張授業を実施しています。

●実験で学ぶ「食品と調理」 担当:生活プロデュース学科 教授 吉川光子

厚木王子高校の選択科目「フードデザイン」で、出張授業を実施しました。調理室でできる食品をつかった簡易な実験です。[実験Ⅰ]果物に含まれるたんぱく質分解酵素を調べる、[実験Ⅱ]果物に含まれるビタミンCの比較をする、[実験Ⅲ]アントシアニン系色素の変化を観察する、の3つです。生徒さんたちはグループを作って作業を進め、ねらい通りの面白い現象を観察することができました。この機会に「調理」の科学的側面に興味をもってもらえたら嬉しいです。

実験Ⅰ 果物に含まれるたんぱく質分解酵素

【試料】りんご、パイナップル(生でカット済み) かまぼこ2切れ
【実験器具・試薬】包丁 まな板 秤 紙皿 楊枝2本

【方法】
かまぼこ2切れを紙皿に置く。
りんごは皮をむき約15gにカットする。カットした表面に触れるように置く。
パイナップルも同様に、カットした直後、平らな面のように置く。
4.5分室温で放置する。
果物をそと取り除き、かまぼこの表面をよくまわし観察する。



実験Ⅱ 果物に含まれるビタミンC量の比較

【試料】りんご、オレンジ、キウイ(黄色種)

【実験器具・試薬】包丁 まな板 秤 透明なカップ ロスポイド マ ヨウ素溶液

【方法】
透明なプラスチックカップ4個(A~D)に水を100g入れて並べる。
りんごの皮を削いで5mm角に切り、そこから5g取り、Aのカップの水に3分~15分間放置する。
同様にオレンジ、キウイも5g取り、オレンジB、キウイCに入れる。Dのカップも入れずに対照とする。
4つすべてのカップが揃ったら、ヨウ素溶液をスポイドで5滴ずつ入れ、そのあとさらに5滴ずつ入れて攪拌し、色を観察する。



保育入門講座



5月25日(土)に「高校生のための保育入門講座」を開催しました。本講座は、大学での学びをリアルに体験し保育の魅力を感じてもらうものではなく、現役2年生も参加し楽しみながら保育を学べる講座です。

1コマ目「抱っこ演習～乳児保育の現場から～」の講座では、赤ちゃん人形を使って抱っこやマッサージを体験したり、わらべ歌を歌いました。

2コマ目「おもしろい身体表現あそび」の講座では、おもいきり体を動かしながら、自然に生み出されるさまざまな身体表現を学んでもらいました。

参加してくれた高校生は16名。「すごく楽しく学べました」とコメントもいただきました。次回は2025年2月15日(土)に開催します。

湘北短期大学 地域連携センター

〒243-8501 神奈川県厚木市温水428
TEL:046-247-3131 / FAX:046-247-3667
E-mail: sr-center@shohoku.ac.jp
URL: <http://scopp.shohoku.ac.jp/>



湘北
ナビットくん

高大連携通信 Vol.27

発行日:2024年10月2日

発行元:学校法人ソニー学園
湘北短期大学
地域連携センター